

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2014年3月14日、4月16日、5月15日(9:00~12:00)

| 科名 | 種名 | 個体数 (3月) | (4月) | (5月) |
|--------|---------------|----------|------|------|
| カモ | オカヨシガモ | 24 | 0 | 0 |
| | ヒドリガモ | 28 | 0 | 0 |
| | ヒドリガモ×アメリカヒドリ | 1 | 0 | 0 |
| | マガモ | 45 | 0 | 0 |
| | マガモ×カルガモ | 2 | 0 | 0 |
| | カルガモ | 190 | 46 | 12 |
| | オナガガモ | 128 | 0 | 0 |
| | コガモ | 168 | 84 | 0 |
| | マガモ属不明種 | 1 | 0 | 1 |
| | ミコアイサ | 1 | 0 | 0 |
| カイツブリ | カイツブリ | 16 | 16 | 9 |
| | カンムリカイツブリ | 40 | 1 | 0 |
| ウ | カワウ | 75 | 113 | 65 |
| サギ | アオサギ | 9 | 11 | 4 |
| | ダイサギ | 4 | 1 | 0 |
| | コサギ | 2 | 1 | 0 |
| クイナ | バン | 1 | 5 | 1 |
| | オオバン | 82 | 45 | 15 |
| カモメ | ユリカモメ | 87 | 0 | 0 |
| | カモメ | 25 | 0 | 0 |
| | セグロカモメ | 9 | 3 | 0 |
| | ニシセグロカモメ | 2 | 1 | 0 |
| タカ | トビ | 3 | 0 | 1 |
| カワセミ | カワセミ | 3 | 1 | 2 |
| カラス | ハシボソガラス | 2 | 8 | 2 |
| | ハシブトガラス | 2 | 1 | 0 |
| ツバメ | ツバメ | 0 | 3 | 20 |
| ムクドリ | ムクドリ | 0 | 1 | 0 |
| 家禽や外来種 | コブハクチョウ | 20 | 11 | 21 |
| | アヒル | 5 | 4 | 2 |
| | バリケン | 2 | 0 | 0 |
| 合計* | | 950 | 341 | 133 |

*家禽や外来種を除く

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日:2014年3月27日、2014年4月16日、5月22日(9:00~12:00)

| 科名 | 種名 | 個体数 (3月) | (4月) | (5月) |
|--------|---------|----------|------|------|
| キジ | キジ | 1 | 5 | 2 |
| カモ | カルガモ | 0 | 2 | 0 |
| ハト | キジバト | 1 | 0 | 2 |
| サギ | ゴイサギ | 0 | 0 | 1 |
| | コサギ | 0 | 3 | 0 |
| タカ | トビ | 0 | 2 | 0 |
| カワセミ | カワセミ | 1 | 1 | 0 |
| キツツキ | コゲラ | 3 | 2 | 2 |
| モズ | モズ | 2 | 4 | 1 |
| カラス | ハシボソガラス | 4 | 3 | 4 |
| | ハシブトガラス | 4 | 3 | 7 |
| シジュウカラ | ヤマガラ | 0 | 1 | 1 |
| | シジュウカラ | 3 | 13 | 10 |
| ツバメ | ツバメ | 1 | 4 | 5 |
| ヒヨドリ | ヒヨドリ | 24 | 28 | 38 |
| ウグイス | ウグイス | 7 | 6 | 5 |
| エナガ | エナガ | 0 | 0 | 2 |
| メジロ | メジロ | 1 | 1 | 1 |
| ヨシキリ | オオヨシキリ | 0 | 0 | 2 |
| ムクドリ | ムクドリ | 29 | 9 | 16 |
| ヒタキ | シロハラ | 2 | 0 | 0 |
| | ツグミ | 10 | 6 | 0 |
| | ツグミ属不明種 | 1 | 0 | 0 |
| | ヒタキ科不明種 | 1 | 0 | 0 |
| スズメ | スズメ | 0 | 10 | 10 |
| セキレイ | ハクセキレイ | 2 | 5 | 2 |
| アトリ | カワラヒワ | 9 | 11 | 4 |
| | シメ | 3 | 0 | 0 |
| ホオジロ | ホオジロ | 12 | 17 | 14 |
| | アオジ | 15 | 10 | 0 |
| 合計 | | 136 | 146 | 129 |

あびこ鳥だより

Summer
2014
【夏号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.38



利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
館内整理日、年末年始(12/29~1/4)

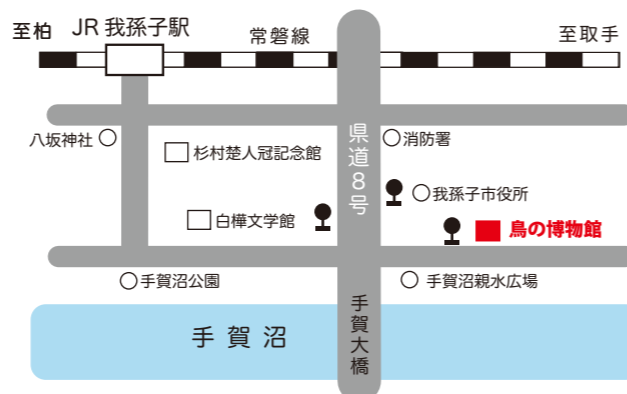
| | 区分 | 個人 | 団体 |
|---------------------|---------|------|------|
| 入館料 (当日有効) | 一般 | 300円 | 240円 |
| | 高校生・大学生 | 200円 | 160円 |
| 3館共通入館料 (1か月有効)* | 一般 | 600円 | |
| | 高校生・大学生 | 400円 | |

- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)
- ・中学生以下の方は入館無料
- *白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ:我孫子市鳥の博物館
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639
ホームページ: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由
バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



- 【特集】 手賀沼における特定外来生物ナガエツルノゲイトウの観察
- 【最新情報】 山階コレクション展 ー日本の鳥学を築いた研究所の貴重標本ーがはじまります
「世界の鳥コーナー」の展示標本の並び順を変えました

表紙の鳥 フクロウ

手賀沼における特定外来生物ナガエツルノゲイトウの観察

鳥の博物館では、手賀沼の水鳥のカウント調査や手賀沼周辺での自然観察会など、手賀沼を活動の場にすることが多くあります。手賀沼を観察していると、外来種のナガエツルノゲイトウが水際に目立つようになりました。ナガエツルノゲイトウは南米原産のヒユ科の多年草で、主に水際に生育します。茎が中空で水に浮きやすく、小さな茎の切れ端からでも盛んに増えるため、在来の生態系に影響を及ぼす可能性があるとして、環境省が定めた特定外来生物に指定されています。



手賀沼の水際に群落をつくるナガエツルノゲイトウ
(2013年10月28日撮影)

ナガエツルノゲイトウは、日本では1989年に兵庫県で初めて採集されました。観賞用の水草として流通しているものを含まれて持ち込まれたとされていますが、明らかになっていません。

千葉県では、1990年に印旛沼で発見されてから、農業用水路を經由して手賀沼流域に広がりました。手賀沼周辺では1998年に手賀沼につながる亀成川流域の農業用水路で、初めて生育が確認されて以降、2002年には亀成川流域全体に広がり、2005年には手賀沼流域全体へ生育地が広がっていった経緯が明らかになっています。

以前から手賀沼でも分布の拡大が問題になっていましたが、近年、手賀沼本体の水面でもよく見られるようになり、船着き場をナガエツルノゲイトウの群落がふさぎ、船の移動を妨げる事例も起きています。



マット状に広がる様子
(2013年10月28日撮影)



水際に生育する様子
(2013年10月28日撮影)



中空の茎
(2013年10月28日撮影)



直径15mmほどの球状の花序
(2013年10月28日撮影)

2013年10月に、手賀沼の上沼エリアでナガエツルノゲイトウが生育している水際の長さを調べてみると、上沼エリアの水際7,936mのうち、約9%にあたる686mを占めていました。河口や流れが緩やかな場所に多く分布し、帯状に大きな群落をつくっていました。群落の多くは人工的に護岸された場所ではなく、ほとんどが他の植物群落のまわりで確認されました。特にヒメガマは他の植物群落に比べ、株どうしの間隔が広く、ナガエツルノゲイトウが群落の内部まで侵入していました。

水際に生育する植物群落は、オオバンやカイツブリなどの水鳥の営巣場所として利用されます。今年の5月に、手賀沼のヒメガマの群落の中にあつたオオバンの浮き巣を調べてみると、巣から5mほど離れた場所にナガエツルノゲイトウの切れ葉がありました。また巣の近くには去年は確認されていなかった群落が広がったことから、今後、ナガエツルノゲイトウの分布が拡大することで、在来の水生植物群落やそこに生息する生物の生態に影響を及ぼす可能性も考えられます。対策や駆除の方法も含め、今後の動向を注意して観察する必要があります。

【参考文献】

林 紀夫・谷城勝弘・浅間滋. 2008. 手賀沼流域における水生植物の繁茂状況. 千葉生物誌58(1):1-6.
林 紀夫・横林庸介・竹中真理子. 2009. 手賀沼流域におけるナガエツルノゲイトウの繁茂域の変遷. 水草研究会誌 91:6-10



図. 上沼エリアの水際におけるナガエツルノゲイトウの分布図



ヒメガマの群落に侵入する様子
(2013年10月28日撮影)



鳥の博物館近くで観察した群落
(2014年5月26日撮影)



オオバンの巣の近くで見つけた切れ葉
(2014年5月26日撮影)



オオバンの浮き巣
(2014年5月26日撮影)

山階コレクション展 ー日本の鳥学を築いた研究所の貴重標本ー がはじまります

今年の夏、立教大学で開催される国際鳥類学会議 (IOC) に合わせ、鳥類学の礎を築いた山階鳥類研究所の貴重な収蔵コレクションを初めて一堂に展示します。研究所の歴史や研究成果、日本固有の鳥類をはじめとする、東アジアの鳥類の多様性についても紹介します。

山階コレクションは、世界中の代表的な鳥の種類を網羅し、特に東アジア・太平洋地域のコレクションの充実が世界屈指のものであります。学術的に貴重な標本も多く、絶滅鳥や希少な鳥の標本、種の記載の基準となるタイプ標本なども含まれています。

本企画展では、山階コレクションを前期 (7月12日～8月31日) と後期 (9月2日～11月30日) に分けて展示します。前期では、絶滅鳥のカンムリツクシガモやリョコウバト、ヤンバルクイナのタイプ標本などを展示します。後期では、絶滅鳥のドーの骨や約130年前に採集された千葉県手賀沼産のコウノトリなど、興味深い標本を中心に展示します。貴重な標本を一堂に見ることができる数少ない機会です。ぜひ、ご来館ください。

第69回企画展 期間：7月12日(土)～11月30日(日)



リョコウバト



オオウミガラス(胸骨)

写真提供：公益財団法人山階鳥類研究所

「世界の鳥コーナー」の展示標本の並び順を変えました

博物館の3階展示室「世界の鳥コーナー」には、約300点のはく製標本が系統分類順に展示されています。近年、DNAの塩基配列を用いた分子系統学の進歩により、鳥の類縁関係に新たな情報が加わったことから、世界の鳥コーナーの標本を世界の潮流に沿った分類体系に合わせ、目(もく)の順番を並べ替えました。

また新たにコウノトリ(コウノトリ目)、クロツラヘラサギ(コウノトリ目)、ミナミジサイチョウ(サイチョウ目)の3種のはく製標本を加えました。今後も新しいはく製標本の追加や並び替えを行っていく予定です。皆さん、ぜひご来館ください。



並び替え後のキジ目とカモ目の展示

イベント情報

●企画展

- 第69回企画展「山階コレクション展」
期間：7月12日(土)～11月30日(日)

●講演・座談会

- テーマトーク
時間：7月12日(土) 13:30～14:15
9月13日(土) 13:30～14:15
場所：博物館多目的ルーム(参加無料)
定員：50名(先着順)
講師：山階鳥類研究所員

●自然観察会*

- てがたん～手賀沼周辺の自然観察会～
時間：毎月第2土曜日 10:00～12:00
集合場所：博物館入口(予約不要)

*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円が必要です

●工作イベント

- 「夏の遊びと研究大集合2014」
期間：7月19日(土)～8月31日(日)の毎週土日
時間：13:30～(1時間程度)
場所：鳥の博物館
定員：20～30名(小学生以下は要保護者同伴)
申込み：整理券制(イベント開始30分前に館内で整理券を配付)
詳細は広報あびこ7月16日号、または博物館ホームページをご覧ください

2014年7月～9月

ミュージアムショップからのお知らせ

今年も鳥博オリジナルポロシャツ販売中!

我孫子市の鳥オオバン刺繍入り

販売価格：1,500円(サイズSS～3L)

1,300円(サイズ110,130,150)

販売場所：鳥の博物館ミュージアムショップ

